令和４年度国立赤城青少年交流の家教育事業

「あかぎ無限大キャンプ（本キャンプ）」

１．趣旨

（１）７泊８日の長期自然体験活動において、協働的な体験プログラム（野外炊事、赤城山登山、レクリエーション等）を通して、多様性を認め合える意識の醸成を図る。

（２）７泊８日の長期自然体験活動の集中的な屋外活動（外遊び）を通して、近視進行の抑制（健康の保持増進）を図る。

２．事業の概要

（１）期日

令和４年８月６日（土）～８月１３日（日）【７泊８日】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

令和４年８月６日（土）～８月１１日（木）【５泊６日】に日程を短縮した。

（２）参加者　２２名

５年生男子（４名）　６年生男子（６名）

５年生女子（６名）　６年生女子（６名）

３．企画運営のポイント

（１） 本キャンプを「セカンド【獲得】」「サード【グループ】」「フォース【成長】」の３つのステージに分けて、ステージごとのねらい・活動のポイントを明確にして実施した。

（２） 「他者の特徴を知るための時間」「活動プログラムを習得する時間」「活動前の話し合いの時間」「自分の考えをまとめる時間」「１日のふりかえりの時間」を十分に確保するために、ゆとりのあるプログラムを編成した。

（３） 「サード【グループ】」で、グループ間の協議が活発になるように、グループの話し合いで決める活動（グループキャンプタイム）を設定した。

（４） 「フォース【成長】」で、個人の成長を実感できるように「個人の能力で決める活動（赤城山選択登山）を設定した。

※日程を短縮したため未実施。

４．日程

日程	活動
8月　6日(土)	・開会式　・アイスブレイク ・チーム MT①「どんなチーム旗を作ろうか？」 ・野外炊事「カレーライスづくり」　・眼の検査　・ふりかえり
8月　7日(日)	・クラフト体験「かんな箸・マイスプーンづくり」　・テント設営 ・レクリエーション「オリエンテーリング　等」 ・ナイトプログラム「自然観察」 ・チーム MT②「明日は何しようか？」　・ふりかえり
8月　8日(月)	・洗濯　・選択レクリエーション①　・野外炊事「バーベキュー」 ・登山 MT「どの山を登ろうか？」　・ふりかえり
8月　9日(火)	・野外炊事「朝食づくり」 ・チーム MT③「グループキャンプタイムで何をしようか？」 ・グループキャンプタイム　・ふりかえり
8月10日(水)	・グループキャンプタイム※テント片付け　・お別れパーティー ・ふりかえり
8月11日(木)	・ふりかえり　・閉会式

５．主な活動内容

「野外炊事」

「テント設営①」

「テント設営②」

「レクリエーション」

「チーム旗づくり」

「ふりかえり」

６．成果と課題

（１）参加者アンケート結果

満足　　：２２人（１００％）　　やや満足：０人（　０％）
やや不満：　０人（　　０％）　　不満　　：０人（　０％）

（２）参加者の声

・自分たちで考えて決める活動が楽しかった。
・少し緊張したけどみんなと仲良くなれた。
・多くの友達と関われて、良い経験になった。
・野外炊事など家ではできないことが多くてよかった。
・友達の大切さを知ることができた。
・たくさん話ができて楽しい雰囲気だった。
・２日間できなかったけど思い出をたくさん作ることができた。

（３）成果

・参加者アンケートで、「自分たちで考えて決める活動が楽しかった。」「グループのレクリエーションが楽しかった。」等の感想が見られたことから、グループで考え話し合う活動が、参加者の挑戦意欲の向上やグループへの所属感につながったと考える。
・本キャンプの１カ月後の保護者アンケートで、「家の手伝いを自分からするようになった。」「(自分から）〇〇してみよう。」という感想から、本キャンプのプログラムが参加者の自発的な行動につながるきっかけの一助になったと考える。

（４）課題

・レクリエーションや野外炊事への取り組ませ方を工夫し、グループの話し合いが、参加者にとって、より「必要感」があるものにすること。
・キャンプ参加前を含む、参加者の健康状態の維持と把握の仕方。

担当：企画指導専門職　　小林　大輔